

(5) 地球環境問題の深刻化

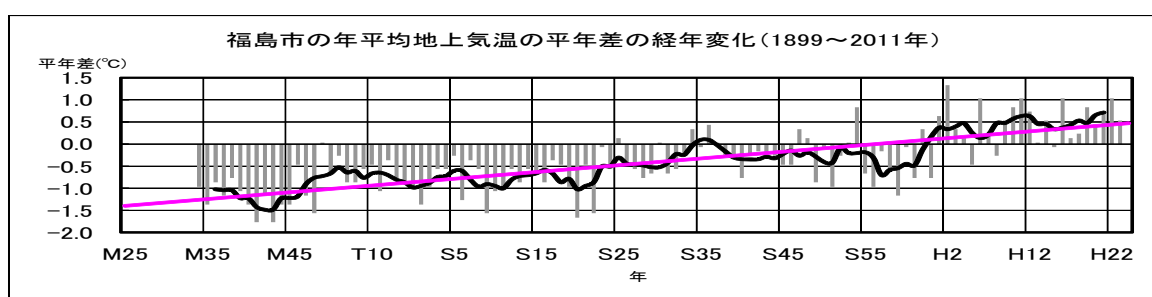
① 現在の状況

地球温暖化をはじめとして、地球規模の環境問題が深刻化し、低炭素社会¹⁰の実現の必要性が指摘されています。

本県は、猪苗代湖、磐梯山に代表される磐梯朝日国立公園、尾瀬国立公園などの自然公園を有し、阿武隈川、阿賀川、久慈川などの源流域を有するほか、変化に富んだ160kmに及ぶ海岸線を有するなど、豊かな自然環境に恵まれています。

一方で、福島市の過去100年間の平均気温が約1.5℃上昇しており、異常降雨の増加、りんごの着色不良など、地球温暖化の影響と思われる現象が発生しています。

また、原子力災害を受けて、我が国ではエネルギー政策をめぐる議論が活発に行われています。風力発電や太陽光発電など再生可能エネルギー¹¹に関する関心が高まっており、本県においては、原子力に依存しない県づくりを県政の基本方針とし、復興・再生の牽引役として再生可能エネルギーを飛躍的に推進していくこととしています。



【出典】気象庁の発表資料により作成

棒グラフ：各年の平均気温の平年値との差
直線：長期的な変化傾向

太線：平年差の5年移動平均
平年値は1971～2000年の30年平均値

② 今後の課題

教育の分野においても、学校などにおける環境問題の解決に向けた取組や省エネルギー等のエコロジー活動などを通して、未来を担う子どもたちの環境問題等に関する意識の醸成を図り、行動に結びつけることが必要であり、学校、家庭、地域が一体となった体験・参加型の取組を実践するなど、環境教育の充実が課題となっています。

さらに、再生可能エネルギーなどの先端技術を本県の子どもたちが担えるよう、その基礎となる理数教育などの充実が課題となっています。

¹⁰ **低炭素社会**……地球温暖化の主因とされる温室効果ガスの1つである二酸化炭素の排出量を大幅に削減するしくみが構築された社会。

¹¹ **再生可能エネルギー**……自然プロセス由来で絶えず補給される太陽、風力、バイオマス、地熱、水力等から生成されるエネルギー